

第三者評価結果シート・コピー（母子生活支援施設）

種別	母子生活支援施設
----	----------

第三者評価機関名

福祉サービス評価センターさが

評価調査者研修修了番号

S16057
S25203
S15156

施設名等

名称：	伊万里市立母子生活支援施設すまいる
施設長氏名：	中尾洋子
定員：	3名
所在地(都道府県)：	佐賀県
所在地(市町村以下)：	伊万里市立花町1604番地169
T E L：	0955-23-9881
U R L：	http://www.city.imari.saga.jp/
【施設の概要】	
開設年月日	1951/4/1
経営法人・設置主体(法人名等)：	伊万里市
職員数 常勤職員：	2名
職員数 非常勤職員：	1名
専門職員の名称(ア)：	母子支援員 兼 少年指導員
上記専門職員の人数：	1名
専門職員の名称(イ)	
上記専門職員の人数：	名
専門職員の名称(ウ)	
上記専門職員の人数：	名
専門職員の名称(エ)	
上記専門職員の人数：	名
専門職員の名称(オ)	
上記専門職員の人数：	名
専門職員の名称(カ)	
上記専門職員の人数：	名
施設設備の概要(ア)居室数：	16室
施設設備の概要(イ)設備等：	学習室
施設設備の概要(ウ)：	静養室
施設設備の概要(エ)：	宿直室

理念・基本方針

利用者の処遇向上や職員の資質向上を図り、児童の健全育成と母子の安全を確保し、早期自立への支援等に努め、地域の住民の養育に関する相談及び助言を行うように努める。

施設の特徴的な取組

無

第三者評価の受審状況

評価実施期間(ア)契約日(開始日)	2017/12/1
評価実施期間(イ)評価結果確定日	2018/3/28
受審回数	1回
前回の受審時期	平成26年度

総評

【評価が高い点】

- 全職員で気持ちを1つにして、利用者の日常の生活の安心と安全を見守られている。
- 毎日、事務日誌を記録し、情報を職員間で共有している。
- 精神的な不安要因のある母親とも、真摯に粘り強い支援を継続されている。
- 母親と子どもの気持ちに寄り添った支援に努められている。

【改善が求められる点】

- 施設独自の理念や基本方針を明確にし、その実現のため中・長期計画の整備を図り、その計画から単年度の事業計画を策定して一連の流れで支援を行う取り組みを図りたい。
- 評価の基本となる必要な文書について、明文化されていないものが見受けられる。
第三者評価受審と自己評価により施設の現状や課題が明らかになったものについては、評価基準に近づけるよう改善策を検討し、施設運営の質の向上に計画的に取り組んでいただきたい。

第三者評価結果に対する施設のコメント

第三者評価を受審して、施設運営上の、評価と、きずきと、課題の把握ができた。
理念を策定し、必要なマニュアルの整備を図る等の改善を実施し、児童福祉事業の質の向上を目指し良質かつ適切な福祉サービスを提供できるようにしていきたい。

第三者評価結果（別紙）

第三者評価結果（母子生活支援施設）

共通評価基準（45項目） 支援の基本方針と組織

1 理念・基本方針

(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		第三者 評価結果
1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。		b
<input type="checkbox"/> 理念、基本方針が文書（事業計画等の法人・施設内の文書や広報誌、パンフレット、ホームページ等）に記載されている。		
<input type="checkbox"/> 理念は、法人・施設が実施する支援の内容や特性を踏まえた法人・施設の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。		
<input type="checkbox"/> 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。		
<input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。		
<input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、母親と子どもへの周知が図られている。		
<input type="checkbox"/> 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。		
【コメント】		
理念として明文化されたものは確認ができず、施設長の考えを口頭で伺った。基本方針については、明文化され職員に配布し周知が図られている。今後は、施設独自の理念についても明文化し、職員及び入所者に周知されるよう取り組みを期待します。		

2 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		第三者 評価結果
2 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。		c
<input type="checkbox"/> 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。		
<input type="checkbox"/> 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。		
<input type="checkbox"/> 母親と子どもの数・母親と子ども像等、支援のニーズ、潜在的に支援を必要とする母親と子どもに関するデータを収集するなど、法人・施設が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。		
<input type="checkbox"/> 定期的に支援のコスト分析や施設入所を必要とする母親と子どもの推移、利用率等の分析を行っている。		
【コメント】		
市直営の施設であることから福祉事業全体の動向が把握されている。しかし、施設独自で分析は行っていない。職掌の範囲内で、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状把握は行われている。今後の課題として、把握された情報やデータが事業計画に繋がるよう期待します。		

3 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。		b
<input type="checkbox"/> 経営環境や支援の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。		
<input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、役員（理事・監事等）間での共有がなされている。		
<input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。		
<input type="checkbox"/> 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。		
【コメント】		

伊万里市の一般会計予算の中で施設の運営、維持管理が行われている。経営状況や改善すべき課題は、市職員や施設職員で協議し、共有されている。今後、経営上の課題や問題点などの解決及び改善に向けて具体的な取り組みを進められるよう期待します。

3 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	第三者 評価結果
<p>4 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。</p> <p><input type="checkbox"/>中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。</p> <p><input type="checkbox"/>中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。</p> <p><input type="checkbox"/>中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。</p> <p><input type="checkbox"/>中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。</p>	C

【コメント】

中・長期計画は策定されておらず、伊万里市の地域福祉計画の中に事業計画が確認できる。今後は、施設として理念や、基本方針を定め、これに従い中・長期ビジョンを明確にされ、その実現のためハード面の老朽化、感染、防災、防犯等の課題解決のための対策を盛り込み、中・長期計画を具体的な取り組みとされるよう期待します。

<p>5 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。</p> <p><input type="checkbox"/>単年度の計画には、中・長期計画の内容を反映した単年度における事業内容が具体的に示されている。</p> <p><input type="checkbox"/>単年度の事業計画は、実行可能な具体的な内容となっている。</p> <p><input type="checkbox"/>単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。</p> <p><input type="checkbox"/>単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。</p>	C
---	---

【コメント】

単年度の事業計画は伊万里市のホームページで示されている。施設独自の事業計画は策定されておらず、伊万里市の予算内で経営の維持が図られている。今後は、施設独自の中・長期計画の中の単年度の計画として、維持管理、人材育成等、具体的な取り組みが検討されることを期待します。

(2) 事業計画が適切に策定されている。	<p>6 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。</p> <p><input type="checkbox"/>事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。</p> <p><input type="checkbox"/>計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。</p> <p><input type="checkbox"/>事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。</p> <p><input type="checkbox"/>評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。</p> <p><input type="checkbox"/>事業計画が、職員に周知(会議や研修会における説明等)されており、理解を促すための取組を行っている。</p>	C
----------------------	---	---

【コメント】

独自の事業計画は策定されていないが、市の事業計画に沿った内容の周知は会議等で職員と共有されている。今後は、事業計画の実施状況の記録及び評価と見直しを期待します。

<p>7 事業計画は、母親と子どもに周知され、理解を促している。</p> <p><input type="checkbox"/>事業計画の主な内容が、母親と子どもに周知(配布、掲示、説明等)されている。</p>	C
---	---

<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を子ども会や母親会等で説明している。	
<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、母親と子どもがより理解しやすいような工夫を行っている。	
<input type="checkbox"/> 事業計画については、母親と子どもの参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。	

【コメント】

月1回、母の会で行事の周知が行われている。日常生活のことは「生活のしおり」の中に記載されている。今後は、子どもへの周知の方法を考慮したり、母親と子どもに分かり易い内容の掲示物や資料作り等に期待します。

4 支援の質の向上への組織的・計画的な取組

(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	第三者 評価結果
8 支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b
<input type="checkbox"/> 組織的にPDCAサイクルにもとづく支援の質の向上に関する取組を実施している。	
<input type="checkbox"/> 支援の内容について組織的に評価(C:Check)を行う体制が整備されている。	
<input type="checkbox"/> 定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。	
<input type="checkbox"/> 評価結果を分析・検討する場が、施設として位置づけられ実行されている。	

【コメント】

日中勤務の職員が2名なので、毎日支援内容について必要時に、随時、話し合いをして、次の支援に繋がる取り組みが行われている。随時のケース会議等も行われている。今後は、随時の話し合いについても会議として記録を残し、嘱託職員を含む全職員で支援の内容確認等、PDCAサイクルに基づいた支援の質の向上のための取り組みを期待します。

9 評価結果にもとづき施設として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b
<input type="checkbox"/> 評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。	
<input type="checkbox"/> 職員間で課題の共有化が図られている。	
<input type="checkbox"/> 評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。	
<input type="checkbox"/> 評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。	
<input type="checkbox"/> 改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。	

【コメント】

評価基準に基づく自己評価が実施されているが、結果の分析や課題の明文化は行われていない。3年毎の第三者評価に関しては、指摘後の改善が見受けられる。今後、毎年、その評価結果の分析から導かれる課題を明確にし、計画的に課題の改善に取り組まれることに期待したい。

施設の運営管理

1 施設長の責任とリーダーシップ

(1) 施設長の責任が明確にされている。	第三者 評価結果
10 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	b
<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの施設の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。	
<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任について、施設内の広報誌等に掲載し表明している。	
<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。	
<input type="checkbox"/> 平常時のみならず、有事(災害、事故等)における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。	

【コメント】

施設長が建物の管理や外庭・内庭の除草、清掃・片付けを行い、敷地内の安全と景観が保たれている。日々の事務日誌やケース会議の記録を確認し、母と子どもの1日の様子を把握している。職掌の文書にも責任を持ち、災害、事故等の連絡網や不在時の権限等は目視で確認できる。今後、自らの責任と役割について施設内での表明・周知されることを期待します。

11 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
<input type="checkbox"/> 施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者(取引事業者、行政関係者等)との適正な関係を保持している。	
<input type="checkbox"/> 施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。	
<input type="checkbox"/> 施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。	
<input type="checkbox"/> 施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。	

【コメント】

施設長研修を受講する等、法令等の改正に留意されている。新聞やニュース等の報道にも注視されている。幅広い分野での支援に必要な事柄に目を向けられている。復命書を回覧し、会議等で説明し職員に周知を図られている。

(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。

12 支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	b
<input type="checkbox"/> 施設長は、支援の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。	
<input type="checkbox"/> 施設長は、支援の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。	
<input type="checkbox"/> 施設長は、支援の質の向上について施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	
<input type="checkbox"/> 施設長は、支援の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。	
<input type="checkbox"/> 施設長は、支援の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。	
<input type="checkbox"/> 施設長は、職員の模範となるように、自己研鑽に励み、専門性の向上に努めている。	

【コメント】

施設長として、支援の質の向上に日々自己研鑽されている。職員が2名のため研修参加時のシフトに配慮しつつ参加を推進されている。

13 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	b
<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。	
<input type="checkbox"/> 施設長は、施設(法人)の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。	
<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、施設内に同様の意識を形成するための取組を行っている。	
<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	

【コメント】

施設長自らが、建物や建物内等の不具合をチェックしている。環境の整備と合わせて各危険箇所等の点検をして、施設の安心と安全の維持に努力している。節約・節電等にも心掛けて、限られた予算内での業務遂行に努めている。

2 福祉人材の確保・育成

(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。

第三者
評価結果

14 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	c
---	---

<input type="checkbox"/> 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。	
<input type="checkbox"/> 支援に関わる専門職(有資格の職員)の配置等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。	
<input type="checkbox"/> 計画にもとづいた福祉人材の確保や育成が実施されている。	
<input type="checkbox"/> 法人・施設として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。	
<input type="checkbox"/> 各種加算職員の配置に積極的に取り組み、人員体制の充実に努めている。	

【コメント】

佐賀県の指導監査で、専門職の配置において人数が不足していると指摘を受けている。しかし、改善に至っていない。今後、人材確保と人材育成を期待します。

15 総合的な人事管理が行われている。	b
<input type="checkbox"/> 法人・施設の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にしている。	
<input type="checkbox"/> 人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。	
<input type="checkbox"/> 一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。	
<input type="checkbox"/> 職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。	
<input type="checkbox"/> 把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。	
<input type="checkbox"/> 職員が、自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みづくりができている。	

【コメント】

伊万里市の規定により人事管理が行われている。今後は、施設の運営維持に必要な専門職の継続雇用と人事管理への取り組みに期待します。

(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。

16 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	b
<input type="checkbox"/> 職員の就業状況や意向の把握等にもとづく労務管理に関する責任体制を明確にしている。	
<input type="checkbox"/> 職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。	
<input type="checkbox"/> 職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。	
<input type="checkbox"/> 定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の悩み相談窓口を施設内に設置するなど、職員が相談しやすいような施設内の工夫をしている。	
<input type="checkbox"/> 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。	
<input type="checkbox"/> ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。	
<input type="checkbox"/> 改善策については、人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。	
<input type="checkbox"/> 人材の確保、定着の観点から、施設の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。	

【コメント】

常勤職員2名で出勤に時間差を設けて、入所者の生活に出来る限り寄り添えるようシフトが組まれている。土曜日は、交代で出勤し、夜間の宿直や日曜・祭日はシルバー人材センターに依頼されている。市職員として、メンタル面のストレスチェック等も行われ、働きやすい環境作りに取り組んでいる。

(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

17 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b
<input type="checkbox"/> 施設として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。	

<input type="checkbox"/> 個別面接を行う等施設の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標が設定されている。	
<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりの目標の設定は、目標項目、目標水準、目標期限が明確にされた適切なものとなっている。	
<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。	
<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。	

【コメント】

平成29年度は、施設長のみ人事考課の個人目標設定を行っている。今後は、施設内においては、施設長自らが各職員の評価を実施され、一貫して統一した目標を設定し業務を行うことで、各個人の育成と支援の質の向上を図られるよう期待します。

18 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	c
<input type="checkbox"/> 施設が目指す支援を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。	
<input type="checkbox"/> 現在実施している支援の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、施設が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。	
<input type="checkbox"/> 策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。	
<input type="checkbox"/> 定期的に計画の評価と見直しを行っている。	
<input type="checkbox"/> 定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。	

【コメント】

職員の教育・研修に関する基本方針は作成されていない。伊万里市の予算内で参加可能な研修等に参加している。研修参加の状況は、復命書等の記録文書で確認できる。今後は、職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、それに基づき施設として体系化した研修等を実施されるよう期待します。

19 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	b
<input type="checkbox"/> 個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。	
<input type="checkbox"/> 新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。	
<input type="checkbox"/> 階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。	
<input type="checkbox"/> 外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。	
<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。	

【コメント】

職員が2名は、それぞれの職務を遂行するために必要な研修を受けている。シフトの都合上、職員2名が同時に同じ研修に参加するのは難しい。今後は、施設内職員の学びの機会作り等、関係機関や専門職の方々の助言や資料提供等を受け、支援の向上を図られるよう期待します。

(4) 実習生等の支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。

20 実習生等の支援に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	c
<input type="checkbox"/> 実習生等の支援に関わる専門職の教育・育成に関する基本姿勢を明文化している。	
<input type="checkbox"/> 実習生等の支援の専門職の教育・育成についてのマニュアルが整備されている。	
<input type="checkbox"/> 専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。	
<input type="checkbox"/> 指導者に対する研修を実施している。	
<input type="checkbox"/> 実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。	

【コメント】

現在、実習生の受け入れは行われていない。過去には実績あり。今後は、受け入れ体制を整備し、次世代の福祉人材育成に関する事柄でもあり、また母親と子どもにとっても職員以外の人と関わる機会ともなるので、専門職の実習受け入れ体制作りを図りたい。

3 運営の透明性の確保

(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	第三者 評価結果
<p>21 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。</p> <p><input type="checkbox"/> ホームページ等の活用により、法人・施設の理念や基本方針、支援の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 施設における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公表している。</p> <p><input type="checkbox"/> 第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公表している。</p> <p><input type="checkbox"/> 法人・施設の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人・施設の実存意義や役割を明確にするように努めている。</p> <p><input type="checkbox"/> 地域へ向けて、理念や基本方針、施設で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。</p>	b

【コメント】

伊万里市の財政状況の一部として施設の情報が公開されている。伊万里市の「福祉のしおり」にも施設に関する事項が公表されている。しかし、施設独自の理念や基本方針に関連した運営状況の文書等が確認できない。今後、運営の透明性を確保する観点から、市の媒体を利用し、より詳細な情報が公開されることに期待します。

<p>22 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。</p> <p><input type="checkbox"/> 施設における事務、経理、取引等に関するルールが明確にされ、職員等に周知している。</p> <p><input type="checkbox"/> 施設における事務、経理、取引等に関する職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。</p> <p><input type="checkbox"/> 施設における事務、経理、取引等について、必要に応じて外部の専門家に相談し、助言を得ている。</p> <p><input type="checkbox"/> 施設における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 外部監査の活用等により、事業、財務に関する外部の専門家によるチェックを行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 外部監査の結果や公認会計士等による指導や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。</p>	b
---	---

【コメント】

伊万里市の財務規則等に基づき適正に処理している。事務・経理・取引等の収支決算は、市に報告し確認されている。市が直接経営を行っているため、外部の専門機関のチェックは受けていない。

4 地域との交流、地域貢献

(1) 地域との関係が適切に確保されている。	第三者 評価結果
<p>23 母親、子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。</p> <p><input type="checkbox"/> 母親と子どもの個別の状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、必要があれば職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 施設や母親と子どもへの理解を得るために、地域の人々に向けた日常的なコミュニケーションを心がけている。</p> <p><input type="checkbox"/> 母親と子どもが買い物や通院等日常的な活動についても、定型的でなく個々の母親と子どものニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。</p> <p>(母子生活支援施設)</p> <p><input type="checkbox"/> 学校の友人等が施設へ遊びに来やすい環境づくりを行っている。</p>	c

【コメント】

利用者家族が地域の夏祭りに参加される程度で、地域との関わりは殆ど行われていない。地域住民を招いた行事も行われていない。利用者の子どもやその友達が利用できるように児童図書の棚が玄関ホールに設置されている。今後は、母と子どもの自立支援に向けても、地域交流や社会資源を利用出来るような機会を作る取り組みに期待します。

24 ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	c
<input type="checkbox"/> ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。	
<input type="checkbox"/> 地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化している。	
<input type="checkbox"/> ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している	
<input type="checkbox"/> ボランティアに対して母親と子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。	
<input type="checkbox"/> 学校教育への協力を行っている。	

【コメント】

ハード面のメンテナンス・清掃に、伊万里市を通じて企業のボランティアの受け入れは行っている。今後、地域と施設とをつないで、母親と子どもに利益をもたらすように、施設側の基本姿勢を明文化され学習ボランティア等、受け入れ体制の整備に期待します。

(2) 関係機関との連携が確保されている。

25 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	c
<input type="checkbox"/> 当該地域の関係機関・団体について、個々の母親と子どもの状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。	
<input type="checkbox"/> 職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。	
<input type="checkbox"/> 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。	
<input type="checkbox"/> 地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。	
<input type="checkbox"/> 地域に適切な関係機関・団体がない場合には、母親と子どものアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。	

【コメント】

伊万里市子育て支援係、母子・父子自立支援員、民生児童員、行政区長との連携は取れている。特に、伊万里市子育て支援係、母子・父子自立支援員とは、ケース会議や月1回開催する母の会の後で話す機会を設けている。今後は、いろいろな関係機関の人材や団体に働きかけてネットワーク化を図り、情報を収集し支援に生かされるよう期待します。

(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。

26 施設が有する機能を地域に還元している。	c
<input type="checkbox"/> 施設のスペースを活用して地域住民との交流を意図した取組を行っている。	
<input type="checkbox"/> 施設の専門性や特性を活かし、地域住民の生活に役立つ講演会や研修会等を開催して、地域へ参加を呼びかけている。	
<input type="checkbox"/> 施設の専門性や特性を活かした相談支援事業、支援を必要とする地域住民のためのサークル活動等、地域ニーズに応じ住民が自由に参加できる多様な支援活動を行っている。	
<input type="checkbox"/> 災害時の地域における役割等について確認がなされている。	
<input type="checkbox"/> 多様な機関等と連携して、社会福祉分野に限らず地域の活性化やまちづくりに貢献している。	

【コメント】

伊万里市の委託事業として病後児保育の受け入が行われているが、他に施設を地域に解放する事業は行われていない。施設が公開できない役割を担っていると判断されているのと、人員的に実施が難しいと判断されている。また、これまで地域より相談を受けた事はなく、来訪もないとのことである。今後、行政や地域との連携を密にしながら、利用者の生活スペースを除く部分で、施設の専門性を活用した取り組みに期待したい。

27 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	c
<input type="checkbox"/> 施設の機能を地域に還元することなどを通じて、地域の福祉ニーズの把握に努めている。	
<input type="checkbox"/> 民生委員・児童委員等と定期的な会議を開催するなどによって、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。	
<input type="checkbox"/> 地域住民に対する相談事業を実施することなどを通じて、多様な相談に応じる機能を有している。	
<input type="checkbox"/> 関係機関・団体との連携にもとづき、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。	
<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズにもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。	
<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズにもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。	

【コメント】

公益的事業・活動は実施されていない。伊万里市の直営施設であるため、相談等の窓口業務は市行政窓口で受け付けられ必要に応じて連携が図られている。また、市行政を通じて民生委員・行政区長・市職員の方々と定期的な会議を開催し、地域のニーズの把握は行われている。今後は、地域の福祉ニーズに基づいた課題の解決を図るために、施設の機能を地域に還元する取り組みに期待します。

適切な支援の実施

1 母親と子ども本位の支援

(1) 母親と子どもを尊重する姿勢が明示されている。	第三者 評価結果
28 母親と子どもを尊重した支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。	b
<input type="checkbox"/> 理念や基本方針に、母親と子どもを尊重した支援の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	
<input type="checkbox"/> 母親と子どもを尊重した支援の実施に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	
<input type="checkbox"/> 母親と子どもを尊重した支援実施に関する基本姿勢が、個々の支援の標準的な実施方法等に反映されている。	
<input type="checkbox"/> 母親と子どもの尊重や基本的人権への配慮について、施設で勉強会・研修を実施している。	
<input type="checkbox"/> 母親と子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。	

【コメント】

入所者の人権については、職員間で情報交換と共有が行われている。母親には、母の会で直接対応されているが、子どもに対しては人権について勉強する機会が設けられていない。今後、倫理や人権など子どもに分かりやすい資料を準備し学ぶ機会を作り、成長に合わせた支援を図られるよう期待します。

29 母親と子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した支援の実施が行われている。	b
<input type="checkbox"/> 母親と子どものプライバシー保護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。	
<input type="checkbox"/> 母親と子どもの虐待防止等の権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。	
<input type="checkbox"/> 母親と子どものプライバシー保護と虐待防止に関する知識、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務、母親と子どものプライバシー保護や権利擁護に関する規程・マニュアル等について、職員に研修を実施している。	
<input type="checkbox"/> 一人ひとりの母親と子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、母親と子どものプライバシーを守るよう設備等の工夫を行っている。	
<input type="checkbox"/> 母親と子どもにプライバシー保護と権利擁護に関する取組を周知している。	
<input type="checkbox"/> 規程・マニュアル等にもとづいた支援が実施されている。	

不適切な事案が発生した場合の対応方法等が明示されている。

【コメント】

母親と子どもの特性に配慮した支援が行われている。1階に浴場があるため、入浴時の導線に配慮し、建物内の廊下の窓に夜間の外からの視界を遮るような工夫が施されている。職員間でも常に話をして、権利擁護に配慮した支援の向上に努めている。しかし、子どもの権利擁護に関する事柄や記録の確認はできなかった。今後、独自の規定・マニュアルを整備され、子どもの権利擁護にも配慮した支援に取り組みられるよう期待したい。

(2) 支援の実施に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。

30 母親と子どもに対して支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。

b

理念や基本方針、支援の内容や施設の特性等を紹介した資料を準備している。

施設を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容になっている。

施設に入所予定の母親と子どもについては、個別に丁寧な説明を実施している。

見学等の希望に対応している。

母親と子どもに対する情報提供について、適宜見直しを実施している。

【コメント】

入所時「生活のしおり」により施設の目的を説明し、生活を始めてもらっている。施設では、生活の安定と社会との繋がりを保てるように配慮した支援が行われている。日常的に情報提供を常に心掛けて、母親と子どもを職員全員で見守る配慮がみられる。今後も、母親の心身の状態や子どもの成長・発達、母親と子どもの生活状況に応じた情報提供の取り組みに期待したい。

31 支援の開始・過程において母親と子どもにわかりやすく説明している。

b

支援の開始・過程における支援の内容に関する説明と同意にあたっては、母親と子どもの自己決定を尊重している。

支援の開始・過程においては、母親と子どもがわかりやすいように工夫した資料を用いて説明している。

説明にあたっては、母親と子どもが理解しやすいような工夫や配慮を行っている。

支援の開始・過程においては、母親と子どもの同意を得たうえでその内容を書面で残している。

意思決定が困難な母親と子どもへの配慮についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。

【コメント】

入所時「生活のしおり」に沿って、その内容をわかりやすく説明している。入所後、生活が落ち着くまでの期間を置いて、1ヵ月後を目途に支援計画を策定し、自立のため支援を実施している。支援計画や日々の生活日誌は目視で確認できるが、母親や子どもの同意は書面で残されていない。今後、母親と子どもに寄り添い、それぞれの自己決定を促し、それを書面で残す取り組みに期待したい。

32 措置変更や地域・家庭への移行等にあたり支援の継続性に配慮した対応を行っている。

b

支援の内容の変更にあたり、従前の内容から著しい変更や不利益が生じないように配慮されている。

他の施設や地域・家庭への移行にあたり、支援の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。

施設を退所した後も、施設として母親と子どもが相談できるように担当者や窓口を設置している。

施設を退所した時に、母親と子どもに対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。

【コメント】

施設の退所時は、「退所のしおり」を使い説明が行われている。退所後の生活の相談も、市職員の協力を得て自立に必要な情報を提供している。入所時から退所後まで、継続して民生委員や市のサービス窓口担当者や連絡調整が行われており、退所後の生活がスムーズに行えるよう配慮されている。今後は、それぞれの世帯について、入所から退所後まで一環した手順で支援が行えるよう、手順の文書化と記録の充実を図られるよう期待します。

第三者
評価結果

(3) 母親と子どもの満足の向上に努めている。

33 母親と子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	c
<input type="checkbox"/> 母親と子どもの満足に関する調査が定期的に行われている。	
<input type="checkbox"/> 母親と子どもへの個別の相談面接や聴取等が、母親と子どもの満足を把握する目的で定期的に行われている。	
<input type="checkbox"/> 職員等が、母親と子どもの満足を把握する目的で、母親と子ども会等に出席している。	
<input type="checkbox"/> 母親と子どもの満足に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、母親と子ども参画のもとで検討会議の設置等が行われている。	
<input type="checkbox"/> 分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。	

【コメント】

母親と子どもを対象とした満足に関する調査は行われていない。職員は、日常生活や会話の中から母親と子どものニーズを汲み取り支援に反映させている。その様子は、事務日誌に記録されている。母親や子どもの表情や態度、言動等から、職員の判断による気付きに重点を置いて支援に取り組まれている。今後、母親と子どもがより満足を得られるよう、要望を把握し改善を図る仕組み作りに期待します。

(4) 母親と子どもが意見等を述べやすい体制が確保されている。

34 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b
<input type="checkbox"/> 苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。	
<input type="checkbox"/> 苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を母親と子どもに配布し説明している。	
<input type="checkbox"/> 苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、母親と子どもが苦情を申し出しやすい工夫を行っている。	
<input type="checkbox"/> 苦情内容については、受付と解決を図った記録が適切に保管している。	
<input type="checkbox"/> 苦情内容に関する検討内容や対応策については、母親と子どもに必ずフィードバックしている。	
<input type="checkbox"/> 苦情内容及び解決結果等は、苦情を申し出た母親と子どもに配慮したうえで、公表している。	
<input type="checkbox"/> 苦情相談内容にもとづき、支援の質の向上に関わる取組が行われている。	

【コメント】

苦情解決の仕組みは伊万里市の児童福祉利用者の苦情処理管理要綱に基づいて行われている。苦情箱を設置しているが、最近、カードが入っていた事はない。現在、利用者が1世帯のため、無記名で投書する意味が無く、口頭での申し出となっている。口頭での申し出は支援にフィードバックされている。今後、申し出の行いやすい環境や雰囲気作り等に考慮し、支援の質の向上が図られるよう期待します。

35 母親と子どもが相談や意見を述べやすい環境を整備し、母親と子どもに周知している。	b
<input type="checkbox"/> 母親と子どもが相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。	
<input type="checkbox"/> 母親と子どもに、その文章の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。	
<input type="checkbox"/> 相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。	

【コメント】

毎月1回、母の会を開催し、母親からも意見を求め職員や市行政職員とのコミュニケーション作りを心掛けている。今後、相談窓口や関係機関の連絡先を示した文書を整備し、周知が図られるよう期待します。

36 母親と子どもからの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b
<input type="checkbox"/> 相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。	
<input type="checkbox"/> 対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。	
<input type="checkbox"/> 職員は、日々の支援の実施において、母親と子どもが相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。	

- 意見箱の設置、アンケートの実施等、母親と子どもの意見を積極的に把握する取組を行っている。
- 職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。
- 意見等にもとづき、支援の質の向上に関わる取組が行われている。

【コメント】

意見や要望の受付用として意見箱を設置している。相談や意見については事務日誌等に記録されている。母親や子どもとの日常的な会話の中で、相談や意見がないか気持ちを汲み取り、必要に応じて職員側から声かけを行うよう配慮されている。今後は、対応マニュアルの内容の充実を図るため、定期的な見直しを行う取り組みを期待します。

(5) 安心・安全な支援の実施のための組織的な取組が行われている。

第三者
評価結果

- 37 安心・安全な支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。
- リスクマネジメントに関する責任者の明確化(リスクマネジャーの選任・配置)、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。
 - 事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。
 - 母親と子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。
 - 収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。
 - 職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。
 - 事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。

b

【コメント】

居室については、職員が点検表を用いて利用者からの聞き取りにより建物や設備等の不具合をチェックしている。また、居室以外の設備の安全点検は施設長が行い、月1回、市に報告されている。施設長は、経年劣化により設備や備品、遊具などが消耗し破損することが、利用者の怪我等につながる恐れがあるため、常に注意されている様子が窺える。今後は、ヒヤリハットや事故報告等の事例を分析や、リスクマネジメントの体制作りを期待したい。

- 38 感染症の予防や発生時における母親と子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。
- 感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。
 - 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し、職員に周知徹底している。
 - 担当者等を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。
 - 感染症の予防策が適切に講じられている。
 - 感染症の発生した場合には対応が適切に行われている。
 - 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を定期的に見直している。

b

【コメント】

感染症対策に関する資料が収集されており、施設独自の感染症マニュアルも整備されている。感染の流行状況は、新聞やテレビ、学校からの通知等で情報を収集し、防止に努められている。利用者に対しては、日常の会話の中で周知したり、母の会で注意を喚起している。今後、嘱託医や市役所の保健師等の専門職の助言・指導を得ることや、予防に必要な情報を利用者に分かりやすく伝える取り組みが期待される。

- 39 災害時における母親と子どもの安全確保のための取組を組織的にしている。
- 災害時の対応体制が決められている。
 - 立地条件等から災害の影響を把握し、建物・設備類、支援を継続するために必要な対策を講じている。

b

<input type="checkbox"/> 母親と子ども及び職員の安否確認の方法が決められ、すべての職員に周知されている。	
<input type="checkbox"/> 食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。	
<input type="checkbox"/> 防災計画等整備し、地元の行政をはじめ、消防署、警察、自治会、福祉関係団体等と連携するなど、体制をもって訓練を実施している。	

【コメント】

災害時の対応体制が定められており、非常勤及び夜勤の委託先を含めた全職員に周知されている。また、対応体制は、事務所内に掲示され、非常時に確認できるように配慮されている。消防所の協力による防火訓練は、年1回、3月に地元の区長・民生委員等も参加してもらい行われている。備蓄リストは作成しているが、予算の都合で整備には至っていない。

2 支援の質の確保

(1) 支援の標準的な実施方法が確立している。	第三者 評価結果
40 支援について標準的な実施方法が文書化され支援が実施されている。	c
<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法が適切に文書化されている。	
<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法には、母親と子どもの尊重、プライバシーの保護や権利擁護に関わる姿勢が明示されている。	
<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。	
<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。	

【コメント】

伊万里市母子支援施設すまいる条例及び運営規則等に基づき支援が行われている。施設における標準的な実施方法に関する文書化は行われていない。今後、理念や基本方針が明文化と合わせて、施設が日常的に行う支援の実施方法を文書化し、標準化された支援が行われることが期待される。

41 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	c
<input type="checkbox"/> 支援の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が施設で定められている。	
<input type="checkbox"/> 支援の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的に行われている。	
<input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、自立支援計画の内容が必要に応じて反映されている。	
<input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、職員や母親と子どもからの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。	

【コメント】

標準的な実施方法が文書がされていないため、慣例的に入所1ヵ月程度を目処に自立支援計画書を立て、2・3ヵ月後に評価が実施されている。今後、実施方法の文書化にあたり、その検証と見直しの仕組みも盛り込み、母や子どもの意向にも添うものとなることに期待します。

(2) 適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。	
42 アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。	b
<input type="checkbox"/> 自立支援計画策定の責任者を設置している。	
<input type="checkbox"/> アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。	
<input type="checkbox"/> 部門を横断したさまざまな職種の関係職員(種別によっては施設以外の関係者も)が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。	

<input type="checkbox"/> 自立支援計画には、母親と子ども一人ひとりの具体的なニーズが明示されている。	
<input type="checkbox"/> 自立支援計画を策定するための部門を横断したさまざまな職種による関係職員（種別によっては組織以外の関係者も）の合議、母親と子どもの意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。	
<input type="checkbox"/> 自立支援計画どおりに支援が行われていることを確認する仕組みが構築され、機能している。	
<input type="checkbox"/> 支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な支援が行われている。	

【コメント】

自立支援計画書は利用者へのアセスメントに基づき策定され、利用者のニーズに応じた支援が行われている。今後、アセスメントに際して医療的な支援が必要な利用者には、医療機関の合意を得たり、関係する各機関の意見・意向を反映する手順を定め、より適切な自立支援計画書の作成に努められることを期待します。

43 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。	b
<input type="checkbox"/> 自立支援計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、母親と子どもの意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。	
<input type="checkbox"/> 見直しによって変更した自立支援計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。	
<input type="checkbox"/> 自立支援計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。	
<input type="checkbox"/> 自立支援計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、支援を十分に実施できていない内容（ニーズ）等、支援の質の向上に関わる課題等が明確にされている。	

【コメント】

自立支援計画は入所1ヵ月後と、半年毎に見直しされている。また、入所者の状況の変化に応じて、随時、計画の見直しが行われている。しかし、母親と子どもの意向把握と、書類への同意の記述までには至っていない。今後、計画を変更する際の仕組みを作成され、職員に手順まで周知が図られるよう期待します。

(3) 支援の実施の記録が適切に行われている。

44 母親と子どもに関する支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	b
<input type="checkbox"/> 母親と子どもの身体状況や生活状況等を、施設が定めた統一した様式によって把握し記録している。	
<input type="checkbox"/> 自立支援計画にもとづく支援が実施されていることを記録により確認することができる。	
<input type="checkbox"/> 記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。	
<input type="checkbox"/> 施設における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。	
<input type="checkbox"/> 情報共有を目的とした会議の定期的な開催等、部門横断での取組がなされている。	
<input type="checkbox"/> パソコンのネットワークシステムの利用や記録ファイルの回覧等を実施して、施設内で情報を共有する仕組みが整備されている。	

【コメント】

伊万里市の担当職員も参加するケース会議を毎月1回開催され、情報の共有と支援の充実が図られている。利用者の記録は、入所から退所までの支援の流れが把握できるよう整理されており、過去の記録の確認が必要な際には、支援の記録を遡り確認できるよう工夫されている。

45 母親と子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a
------------------------------	---

<input type="checkbox"/>	個人情報保護規程等により、母親と子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。	
<input type="checkbox"/>	個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。	
<input type="checkbox"/>	記録管理の責任者が設置されている。	
<input type="checkbox"/>	記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。	
<input type="checkbox"/>	職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。	
<input type="checkbox"/>	個人情報の取扱いについて、母親と子どもに説明している。	
【コメント】		
伊万里市個人情報保護条例及び伊万里市文書規定により記録が管理されている。守秘しなければならない書面等は、事務所に隣接した書類保管用の部屋に置かれ、職員が不在の時はドアに施錠がなされている。利用者の記録を扱うパソコンにはセキュリティー用のパスワードが設定されている。		

内容評価基準（28項目）A - 1 母親と子ども本位の支援

(1) 母親と子どもの尊重と最善の利益の考慮		第三者 評価結果
A1 社会的養護が子どもの最善の利益を目指して行われることを職員が共通して理解し、日々の支援において実践している。		b
<input type="checkbox"/>	支援の内容が母親と子どもにとって最善の利益になっているか、振り返り検証する機会が設けられている。	
<input type="checkbox"/>	母親と子どもの個人を尊重し、母親と子どもの希望や意見に可能な限り応えている。	
<input type="checkbox"/>	人権に配慮した支援を行うために、職員一人一人の職業倫理並びに職員としての職務及び責任の理解と自覚を持っている。	
<input type="checkbox"/>	施設全体の質の向上を図るため、職員一人一人が、実践や研修を通じて専門性を高めるとともに、実践の内容に関する職員の共通理解や意見交換を図り、協働性を高めている。	
<input type="checkbox"/>	職員どうしの信頼関係とともに、職員と子ども及び職員と母親との信頼関係を形成していく中で、常に自己研鑽に努め、喜びや意欲を持って支援に当たっている。	
<input type="checkbox"/>	受容的・支持的なかかわりを基本としながら母親と子どもの状況に応じて適切な対応ができるよう、常に母親と子どもの利益を考慮し真摯に向き合っている。	
【コメント】		
職員は共通の認識を以って支援にあたるよう、必要に応じて随時に話し合いを持ち、情報の共有が図られている。また、支援は母親と子どもの最善の利益に繋がることが最優先の目標とされている。日常の声かけや見守りを通じて、様子の変化等も見逃さないように気が配られていることが窺える。		
(2) 権利侵害への対応		
A2 いかなる場合においても、職員等による暴力や脅かし、人格的辱め、心理的虐待、セクシャルハラスメントなどの不適切なかかわりが起こらないよう権利侵害を防止している。		a
<input type="checkbox"/>	不適切なかかわりがあった場合を想定し、施設長が職員と利用者の双方に事実確認や原因の分析等を行うことや「就業規則」等の規程に基づいて厳正に処分を行う仕組みがつけられている。	
<input type="checkbox"/>	不適切なかかわりの起こりやすい状況や場面について、具体的な例を示しながら、研修や話し合いを行い、職員による不適切なかかわりを行わないための支援技術を習得させている。	
<input type="checkbox"/>	不適切なかかわりの禁止を職員等に徹底するため、日常的に会議等で取り上げ、行われていないことを確認している。	
<input type="checkbox"/>	職員からの暴力や言葉による脅かしなどの、不適切なかかわりが発生した場合に対応するためのマニュアル等を整備し、規程に基づいて厳正に対応している。	

不適切なかかわりや暴力を見たり聞いたりしたら、管理者等に報告することを義務付けている。

【コメント】

伊万里市職員セクハラ・パワハラ防止要綱（平成25年7月1日施行）に基づき、不適切な関わりが発生しないよう職員に周知が図られている。今後も継続して、母親と子どもの人権を守り、権利擁護と生活の拠点としての役割を、果たして行かれるよう期待します。

A3 いかなる場合においても、母親や子どもが、暴力や脅かし、人格を辱めるような不適切な行為を行わないよう徹底している。

a

不適切な行為の防止について、具体的な例を示して、母親と子どもに周知している。

不適切な行為に迅速に対応できるように、母親と子どもからの訴えやサインを見逃さないよう留意している。

不適切な行為の防止を徹底するため、日常的に会議等で取り上げ、行われていないことの確認や職員体制の点検と改善を行っている。

不適切な行為を伴わない人とのかかわりについて、母親や子どもに伝え、良好な人間関係の構築を図っている。

【コメント】

母親や子どもに不適切な行動がみられた場合は、その都度、注意を行っていることが毎日の事務日誌に記録されている。月1回のケース会議で発生的事案等について協議され、対応が図られている。今後も、母親や子どもと良好な人間関係を構築され、いかなる小さなサインや訴えも見逃さない支援を期待します。

A4 子どもに対する暴力や脅かし、人格を辱めるような不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。

b

不適切なかかわりに迅速に対応できるように、子どもからの訴えやサインを見逃さないよう留意している。

子どもが自分自身を守るための知識・具体的方法について学習する機会を設けている。

不適切なかかわりを伴わない子育てについて母親に伝え、良好な親子関係の構築を図っている。

常に親子関係の把握に努め、適切な助言や支援を行っている。

【コメント】

日常生活場面で、親子間の不適切な関わりが見られた場合は、職員がその場で間に入り、助言や支援を行っている。対応の状況は、職員間で情報を共有し、その後の支援に支障がないよう協議されている。今後、子どもの人権について、子ども自身に学習の機会を提供し、思春期に向かう心身の安定を図られるよう期待します。

(3) 思想や信教の自由の保障

A5 母親と子どもの思想や信教の自由を保障している。

a

施設において宗教的活動等を強要していない。

個人的な宗教活動等は尊重している。

母親と子どもの思想や信教の自由については、最大限に配慮し保障している。

母親の思想や信教によって、その子どもの権利が損なわれないよう配慮している。

【コメント】

思想や宗教の自由は、憲法に保障されている基本的人権であるという認識から、個人を尊重し特別な制限は設けられていない。これまで、日常の生活の中で、宗教の問題や思想に関するトラブルは起きたことがない。

(4) 母親と子どもの意向や主体性の配慮

<p>A6 母親や子どもが、自分たちの生活全般について自主的に考える活動（施設内の自治活動等）を推進し、施設における生活改善に向けて積極的に取り組んでいる。</p>	b
<p><input type="checkbox"/>子ども自身が自分たちの生活全般について、自主的・主体的な取組ができるような活動（施設内の自治会活動等）を母親の理解のもとで実施している。</p>	
<p><input type="checkbox"/>子どもが問題や課題について主体的に検討し、その上で取組、実行、評価するといった内容を含んだ活動を母親の理解と協力のもと実施している。</p>	
<p><input type="checkbox"/>活動を通して、子どもの自己表現力、自律性、責任感などが育つよう必要な支援をしている。</p>	
<p><input type="checkbox"/>母親が自らの権利を学び、自主的に自分の生活を改善していく力を養えるよう支援している。</p>	
<p><input type="checkbox"/>母親の自治会活動等を通して、母親の自己表現力、自律性、責任感などに対する支援を行っている。</p>	

【コメント】

今後、子どもが自身の課題に主体的に取り組み、実行、評価することが身につくように、子どもが興味を持って関われる活動に取り組まれることに期待したい。

(5) 主体性を尊重した日常生活

<p>A7 日常生活への支援は、母親や子どもの主体性を尊重して行っている。</p>	a
<p><input type="checkbox"/>母親や子どもの自尊心や強みを大切に支援を行い、自己肯定感が回復し高まるような支援を行っている。</p>	
<p><input type="checkbox"/>母親と子どもに対してストレングスの視点に基づいて、エンパワーメントしていく支援を行っている。</p>	
<p><input type="checkbox"/>常に母親と子どもの主体性を尊重した支援を通して、その人が力を発揮できるよう支援を行っている。</p>	

【コメント】

生活の状況を見守り、利用者の自主性を尊重し、必要に応じて助言や支援を行うようにされている。今後、母と子どもにいろいろ体験・体感の機会を設けて、達成感や自信に繋がる支援の展開に期待します。

<p>A8 行事などのプログラムは、母親や子どもが参画しやすいように工夫し、計画・実施している。</p>	b
<p><input type="checkbox"/>母親や子どもが施設での生活を楽しめるような企画を用意している。</p>	
<p><input type="checkbox"/>母親と子どもの主体的な参画を前提とした行事・プログラムを用意している。</p>	
<p><input type="checkbox"/>母親向けのプログラムでは、母親が安心して参加し楽しめるように、保育などのサポートを行っている。</p>	
<p><input type="checkbox"/>母親や子どもの状況を考慮し、参加しやすいように内容・時間等を工夫している。</p>	
<p><input type="checkbox"/>行事等の実施後に、評価を行い次回の実施につなげている。</p>	

【コメント】

現在、利用者が1世帯のため施設内での行事は七夕やクリスマス会に限られており、利用者間の交流は行われていない。複数の利用世帯があった以前は、進学・進級のお祝い会を行っていた実績がある。今後、母親と子どもの要望・意見を聞き、支援として有効な体験や経験を提供されるよう期待します。

(6) 支援の継続性とアフターケア

A9 母親と子どもが安定した生活を送ることができるよう、退所後の支援を行っている。	c
<input type="checkbox"/> 退所後の支援が効果的に行われるよう、退所後の支援計画を作成している。	
<input type="checkbox"/> 退所した地域で安定して暮らすために、必要に応じて退所先の行政機関をはじめ、多様な地域の関係機関や団体とネットワークを形成し、母親と子どもが適切な支援が受けられるようにしている。	
<input type="checkbox"/> 退所後も電話や来所によって施設に相談できることを母親と子どもに説明し、生活や子育て等の相談や施設機能を活用した(学童保育・学習支援・施設行事への招待等)支援を提供している。	
<input type="checkbox"/> 退所後の生活が安定していることを確認するための往訪や架電等の取組を行っている。	
<input type="checkbox"/> 必要に応じて退所先に往訪し、介助や同行・代行等の支援を行っている。	

【コメント】

最近の事例に退所後の支援を行った事例はないが、必要があれば支援を行うようにされている。退所後の世帯と現在も定期的に交流を持っている事例もある。今後、入所時から退所後のアフターケアまで一連の支援を目指して、母と子どもが地域に馴染んで生活が継続できるよう、体制の整備が図られることに期待します。

A - 2 支援の質の確保

(1) 支援の基本

	第三者 評価結果
A10 母親と子どもそれぞれの個別の課題に対応して、専門的支援を行っている。	b
<input type="checkbox"/> 母親と子どもがそれぞれ抱える個別の課題に対して、目的や目標を明確にし計画的で一貫した専門的支援を行っている。	
<input type="checkbox"/> 母親と子どもの課題を正しく理解し、親子・家庭のあり方を重視した支援を行っている。	
<input type="checkbox"/> 母親と子どもが、自己の意思で課題を解決できるように個々の気持ちに寄り添った支援を行っている。	
<input type="checkbox"/> 資料等を使いながら、必要な手続きをわかりやすく説明し、必要に応じて職員が機関等への同行及び代弁を行っている。	
<input type="checkbox"/> 専門的な支援を行うために、その支援に必要な資格や経験等を考慮した職員を配置し、職員間で連携・協議を行っている。	

【コメント】

職員は、利用者の気持ちに寄りい専門的支援を行っているが、一人の職員が母子支援員と少年指導員を兼ねて支援を行っている状況を含めて、十分ではないと考えられている。今後、これまでの支援の見直し・評価を確実に実施され、利用者個々の特性を理解し、それに応じた支援の方法を探り、生活の基盤作りのサポーターとして取り組まれることに期待します。

(2) 入所初期の支援

A11 入所に当たり、母親と子どもそれぞれのアセスメントに基づき、生活課題・ニーズを把握し、生活や精神的な安定に向けた支援を行っている。	b
<input type="checkbox"/> 入所直後は心理的に不安になりやすいため、信頼関係の構築に心がけ、心の安定に向けた相談支援に努めている。	
<input type="checkbox"/> 母親と子どもが安心して施設を利用し、課題の解決に向かえるように、関係機関等と連携して情報提供に努めている。	
<input type="checkbox"/> 子どもが保育所・学校に速やかに入所・通学できるよう支援している。	
<input type="checkbox"/> 必要に応じて、生活用具・家財道具等の貸し出しを行っている。	
<input type="checkbox"/> 居室は、母親と子どもが生活するために必要な十分なスペースが確保され、プライバシーに配慮したものとなっている。	

身体に障害のある母親や子どもに対しても、安全に生活ができるように配慮している。

【コメント】

施設が伊万里市の直営ということもあり、利用者の入所時から退所に至るまで、市役所の担当者と十分に情報の共有を図った上で支援に取り組まれている。施設の構造に関しては、建築当初からバリアフリーを想定したものとなっており、大規模な改修は行われていないため、身体に障害のある利用者の受入れは困難である。居室のトイレは洋式化されている。

(3) 母親への日常生活支援

A12 母親が、安定した家庭生活を営むために必要な支援を行っている。

b

生活経験に乏しい母親には、職員と共に行うことで経験を補う等の支援を行っている。

心やからだの健康に不安を持つ母親には、相談に応じたり、医療機関への受診を促したりするとともに、栄養管理等の食生活への支援を行うなど、ニーズに応じた健康管理のための支援を行っている。

必要に応じて、衣服の清潔保持や入浴など、気持ちよく暮らすために必要な衛生面への支援を行っている。

経済的に安定した生活を送るために、必要に応じて家計の管理、将来に向けた貯蓄等の相談や支援を行っている。

支援の必要性やニーズに応じて、家事・育児等、日常生活全般について、代行や介助等の支援を行っている。

【コメント】

医療的な支援が必要な母親や子どもに対して十分な支援ができていないと難しい。利用者に精神面で不安定な要素があっても、利用者に自覚がない場合は、職員側の支援の提案を素直に受け入れてくれないことがあり、改善に苦慮されている様子が窺える。今後は、県児童相談所や嘱託医、市の保健士等の専門職から助言を求めて、母親や子どもの心身の体調管理、健康維持、金銭管理等が上手くいくよう体制の整備が図られることに期待します。

A13 母親の子育てのニーズに対応するとともに、子どもとの適切なかわりができるよう支援している。

b

母親の育児に関する不安や悩み等の発見に努め、その軽減に向けた相談や助言、介助等を行うとともに、必要に応じて保育の提供や保育所へつなぐ等の支援を行っている。

母親の状況に応じ、子どもの保育所・学校等への送迎の支援を行っている。

母親が子どもを客観的に理解できるように、発達段階や発達課題について示し、適切な子育てやかかわりについてわかりやすく説明している。

虐待や不適切なかかわりを発見した時は職員が介入し、必要に応じて専門機関との連携を行っている。

必要に応じて、子どもが通う保育所や学校と連携している。

【コメント】

現在は、利用者が少ないためニーズが無い状態が続いているが、必要に応じて適切なかわりを支援できる体制は整えられている。しかし、保育の提供に関しては、施設の設定や職員の配置から対応できない状況である。

A14 母親が安定した対人関係を築くための支援を行っている。

b

母親が職員とつながっていることを実感できるよう、様々な場面で気軽に声をかけたり、相談に応じるなどの取組を行っている。

施設を自分の居場所として感じられるように、母親どうしが集うための機会や場を設け、交流を促すなどなど、関係づくりのための支援を行っている。

対人関係がうまくできない母親には、母親のペースに合わせた関係性の構築に配慮を行っている。

- 社会との関係をとることの難しさから対人関係にストレスを生じている場合は、そのストレスの軽減が図られるよう、心理療法を行ったり相談に応じたりしている。
- 施設内の他の母親や子どもとの間でトラブルが生じたときに、その関係性を修復もしくは改善するための支援を行っている。

【コメント】

複数世帯が利用されていたときは、月1回実施する母の会や七夕会、クリスマス会が交流の場として機能していた。職員は、常に話しやすい雰囲気作りを心がけている。しかし、心理療法を用いた相談対応は行われておらず、利用者世帯の自主的な受診に任されている。今後、精神科医等の専門機関と連携し、必要に応じて助言を受けるなど、心理面での支援が行える体制の整備が期待される。

(4) 子どもへの支援

<p>A15 健やかな子どもの育ちを保障するために、養育・保育に関する支援を行っている。</p>	b
<p><input type="checkbox"/> 子どもの成長段階、発達段階に応じた養育支援を行っている。</p>	
<p><input type="checkbox"/> 放課後の子どもの生活の安定や活動を保障し、活動場所、プログラム等を用意するとともに、日常生活に必要な知識や技術の伝達、遊びや行事等を行っている。</p>	
<p><input type="checkbox"/> DVを目撃した子どもを含め、被虐待児等や発達障害を含む様々な障害等の特別な配慮が必要な子どもに対しては、必要に応じて個別に対応し、子どもの状況に応じた支援を行っている。</p>	
<p><input type="checkbox"/> 母親のニーズや状況に応じて、施設内の保育支援や保育所への送迎、通院の付き添いなどの支援を行っている。</p>	
<p><input type="checkbox"/> 施設内における養育・保育に関する記録を整備し、支援に役立てている。</p>	

【コメント】

現在、特別な配慮が必要な子どもが利用者にはいないため、それに対応した特別なプログラムは実施されていない。利用者の子どもは小学生一人だけのため職員がマンツーマンで支援し、コミュニケーションは十分取れている。今後、心身の発達に応じた療育支援や学習支援、年齢・性別を問わず交流できる機会の提供等、支援の拡充が図られるよう期待します。

<p>A16 子どもが自立に必要な力を身につけるために、学習や進路、悩み等への相談支援を行っている。</p>	b
<p><input type="checkbox"/> 落ち着いて学習に取り組める環境を整え、年齢に応じた適切な学習支援を行っている。</p>	
<p><input type="checkbox"/> 学習の習慣を身につけるとともに、学習への動機づけを図っている。</p>	
<p><input type="checkbox"/> 進学や就職への支援について、母親と子ども双方の意向をくみ取り、学校と連携して情報提供を行いながら、具体的な目標を定めている。</p>	
<p><input type="checkbox"/> 学費の負担軽減のため、各種の奨学金や授業料の減免制度等の活用への支援を行っている。</p>	
<p><input type="checkbox"/> 学習指導のために学習ボランティア等の協力を得ている。</p>	
<p><input type="checkbox"/> 子ども一人一人の個性を重視した相談・支援を行っている。</p>	

【コメント】

学習の習慣を身につけさせようと職員は、声かけをし、宿題が終わっているかチェックする等の支援を行っている。また、施設内で児童は1人のため、2階に設けられた学習室の利用は少なく、職員のいる事務室周辺や居室で学習しているため、母親のいない時間帯は、職員の目の届く場所で学習できる環境の整備が望まれる。今後、児童本人の個性に配慮した支援計画を策定され、学習ボランティアの導入や学ぶ楽しみを経験できる機会の提供等を通じて学習習慣を身につける支援へ取り組むことが望まれる。

<p>A17 子どもに安らぎと心地よさを与えられるおとなのかかわりや、子どもどうしのつきあいに配慮して、人との関係づくりについて支援している。</p>	b
<p><input type="checkbox"/> 母親以外のおとなにも受け入れられたり、甘えられたりする経験を増やし、おとなとの信頼関係が構築できるよう支援している。</p>	
<p><input type="checkbox"/> ボランティアや実習生など、様々なおとなとの出会いの機会を設け、多様な価値観、生き方への理解をすすめている。</p>	

- 悪意や暴力のないおとなモデルを提供することで、おとなに信頼感を持てるよう支援している。
- 自分の気持ちをことばで適切に表現し相手に伝えることについて、日常生活の中でその方法を意識的に伝え、その能力が向上するよう支援している。
- 専門的なプログラムに基づいたグループワークを積極的に取り入れている。

【コメント】

児童一人に対して複数の職員が支援しているため、十分に時間をかけて子どもの気持ちに寄り添い、コミュニケーションが図られている。しかし、別世帯の母親や異年齢の子どもとの交流がなく人間関係の構築を学ぶ機会に乏しい。今後取り組みとして、実習生やボランティア等の外部の方々を受け入れ、人との出会いと関係作りを体験できる機会の提供に期待します。

A18 子どもの年齢・発達段階に応じて、性についての正しい知識を得る機会を設け、思いやりの心を育む支援を行っている。

c

性をタブー視せず、子どもの疑問や不安に正確な知識を持って応えている。

職員間で性教育に関する知識や、性についてのあり方などの学習会を行っている。

年齢、発達段階に応じて、性についての正しい知識、関心が持てるよう支援している。

年齢に応じた性教育の計画があり、正しい性知識を得る機会を設けている。

必要に応じて外部講師を招く等して、性教育のあり方について学習会などを職員や子どもに対して実施している。

【コメント】

現在は、小学校での性教育のみで、施設側での取り組みはない。しかし、子どもの成長に合わせて性教育の必要性は感じられており、支援の方法を検討されている。今後、命の教育の一環として性教育をとらえて、子どもの年齢や発達に合わせて、正しい知識を学んでもらう機会を設けられるよう期待します。

(5) DV被害からの回避・回復

A19 母親と子どもの緊急利用に適切に対応する体制を整備している。

b

緊急時に備えて、夜間でも対応できる体制を構築している。

24時間の受け入れや広域利用など、広く母親と子どもの緊急利用を受け入れている。

役割分担と責任の所在を明確にし、配偶者暴力相談支援センター・警察署・福祉事務所等との連絡調整体制を整えている。

緊急時対応マニュアルを作成・整備している。

緊急利用のための生活用品等を予め用意している。

【コメント】

緊急時の対応体制は構築されているが、受け入れ対応は基本的に窓口となる伊万里市福祉課が開いている時間となる。このため、24時間の受け入れには対応していない。緊急利用に備え、居室は整えられており、生活用品、衣類なども整備されている。

A20 母親と子どもの安全確保のために、DV防止法に基づく保護命令や支援措置が必要な場合は、適切な情報提供と支援を行っている。

c

<input type="checkbox"/> 保護命令制度や支援措置・DV相談証明の活用について、情報提供を行うとともに、必要に応じて法的手続きのための同行等の支援を行っている。	
<input type="checkbox"/> 弁護士や法テラスの紹介や調停・裁判などへの同行等、さらに必要に応じて代弁等の支援を行っている。	
<input type="checkbox"/> DV加害者に居所が知れ、危険が及ぶ可能性がある場合には、母親と子どもの意向を確認した上で、速やかに関係機関と連携し、保護命令の手続きや他の施設への転居等の支援を行っている。	

【コメント】

DV被害者の施設利用の事例はない。DV被害者への対応に関しては福祉事務所が担当となるため、実際に問題が生じた場合は福祉事務所と連絡を取り合い、母親と子どもの安全確保に取り組むことになる。このため、不測の事態への対応や、関係機関との連携、母と子どもへの精神的フォローなどの課題を想定したマニュアルの作成・整備が図られるよう期待します。

A21 心理的ケア等を実施し、DVの影響からの回復を支援している。	c
<input type="checkbox"/> DVについての正しい情報と知識を提供し、DV被害者の理解を促し、自己肯定感を回復するための支援を行っている。	
<input type="checkbox"/> DVから脱出することができたことを評価し、安心し安定した生活と幸せな未来について、職員と一緒に考え支援することを伝えている。	
<input type="checkbox"/> 心理療法を活用し、医師やカウンセラーと情報交換を行いながら、より適切な支援を行っている。	
<input type="checkbox"/> 必要に応じて、自助グループや外部の支援団体等の紹介を行っている。	

【コメント】

現在、DVの被害を受けた利用者の支援はなく、心理的ケアも行われていない。過去にDV後の支援を行なった事例はある。今後、被害者の利用の可能性はあるため、対応に備えた体制を整備し、受入れに備える取り組みが望まれる。

(6) 子どもの虐待状況への対応

A22 被虐待児に対しては虐待に関する専門性を持ってかわわり、虐待体験からの回復を支援している。	b
<input type="checkbox"/> 暴力によらないコミュニケーションを用いるおとなのモデルを職員が示している。	
<input type="checkbox"/> 子どもと個別に関わる機会を作り、職員に自分の思いや気持ちを話せる時間を作っている。	
<input type="checkbox"/> 子ども一人ひとりがかけがえのない大切な存在であることを伝えることや、感情表現を大切にすることで、自己肯定感や自尊心の形成に向けた支援を行っている。	
<input type="checkbox"/> 医療機関や児童相談所などの関係機関と必要な情報の交換を行いながら、より適切な支援を行っている。	
<input type="checkbox"/> 心理療法担当職員によるカウンセリング等の専門的ケアを実施している。	
<input type="checkbox"/> 被虐待児に対する支援の専門性を高めるための職員研修等を行っている。	

【コメント】

虐待の有無に関わらず、日頃から虐待の発生が無いか子どもを見守り、子どもとの関わりを重要視し、声を掛けたときの返事や服装、衣服の汚れ、食事の有無の聞き取り等からの「気づき」を職員で共有し支援に繋げて。今後、子どもの権利条約における「生きる・育つ・守られる・参加する」等の事柄について、子どもへ伝わるように話をする機会を設けて、成長を見守る支援を期待します。

A23 子どもの権利擁護を図るために、関係機関との連携を行っている。	a
------------------------------------	---

<input type="checkbox"/> 児童虐待の発生やその疑いがある場合は児童相談所に通報し、連携して対応している。	
<input type="checkbox"/> 被虐待児童に対しては、必要に応じて、心理判定や児童精神科医との相談などの児童相談所機能を活用している。	
<input type="checkbox"/> 必要に応じて、福祉事務所や保育所・学校・病院等と情報交換や連携を図り対応している。	

【コメント】

権利を侵害する事例があれば、福祉事務所、学校等の関係機関と連携を取り、対応できる体制が整備されている。

(7) 家族関係への支援

A24 母親や子どもの家族関係の悩みや不安に対する相談・支援を行っている。	a
<input type="checkbox"/> 母親の家族関係の悩みや不安を受け止め、相談に応じている。	
<input type="checkbox"/> 子どもの家族関係の悩みや不安を受け止め、相談に応じている。	
<input type="checkbox"/> 家族の中に感情の行き違いや意見の相違がある場合、適切に介入し調整を行っている。	
<input type="checkbox"/> 必要に応じて、他の親族との関係調整を行っている。	

【コメント】

毎月開催の母の会や、帰宅の時間を利用して、職員から声かけを行い、悩みや困っていることが無いが確認されている。また、必要に応じて相談を受け、悩みや不安に対する対応はしている。今後も、母親の気持ち・子どもの気持ちに寄り添った継続支援を期待します。

(8) 特別な配慮が必要な母親、子どもへの支援

A25 障害や精神疾患、その他の配慮が必要な母親と子どもに対する支援を適切に行い、必要に応じて関係機関と連携している。	c
<input type="checkbox"/> 社会資源の積極的な活用をするための支援を行っている。	
<input type="checkbox"/> 公的機関や就労先、保育所や学校等と連携した支援を行っている。	
<input type="checkbox"/> 精神疾患があり、心身状況に特別な配慮が必要な場合、同意を得て主治医との連携のもと、通院同行、服薬管理等の療養に関する支援を行っている。	
<input type="checkbox"/> 障害や精神疾患がある場合や外国人の母親や子どもへは、必要に応じて公的機関、就労先への各種手続きの支援を行ったり、保育所、学校等、他機関と連携し情報やコミュニケーション確保の支援を行っている。	

【コメント】

これまで事例がない。現状では、建物がバリアフリーに対応しておらず、職員体制にも不安があるため、特別な配慮が必要な母親や子どもの施設利用に対応できる状態にない。今後、施設のバリアフリー化を図るとともに、医療や障害者福祉関係機関と連携し、配慮が必要な母親や子どもの施設受入れと自立支援に取り組まれることに期待したい。

(9) 就労支援

A26 母親の職業能力開発や就労支援を適切に行っている。	b
<input type="checkbox"/> 母親の心身の状況や能力・適性・経験・希望に配慮した支援を行っている。	
<input type="checkbox"/> 資格取得や能力開発のための情報提供や支援を行っている。	

- 公共職業安定所以外にも、パートバンクや母子家庭等就業・自立支援センター等、様々な機関との連携や調整、必要に応じて、同行や職場開拓等の支援を行っている。
- 母親が安心して就労できるように補完保育（残業や休日出勤時の保育等）、病後児保育、学童保育などを行っている。

【コメント】

現在利用の母親は就労されているが、過去の事例では、母親とハローワークへ同行したり、就職情報を収集し提供することで就労につながった実績がある。支援の体制はあるため、同様の状況であれば対応可能である。今後、就労を支援する様々な機関と連携するだけに止まらず、職場への同行や開拓、補完保育等により母親が安心して就労できる環境の整備に取り組まることが望まれる。

- A27 就労継続が困難な母親への支援を行い、必要に応じて職場等との関係調整を行っている。 b
- 職場環境、人間関係に関する相談や助言など、個々に対応した幅広い支援を行っている。
- 母親が望む場合、就労継続のために職場との関係調整を行っている。
- 障害がある場合や外国人の母親の場合、その心身等の状態や意向に配慮しながら、就労の継続に向けての支援を行っている。
- 就労継続が困難な母親を積極的に受け入れている。
- 必要に応じて福祉的就労の活用を図っている。

【コメント】

母親の就労継続にかかる職場等との関係調整に関して支援が不十分である。また、母親に障害がある場合や外国人、就労困難等の場合は、専門的な支援ができる職員の配置がなく、受け入れに不安がある。現在は就労継続に関する支援のニーズが無いが、今後、事案が発生した場合に対応できるよう体制の整備が求められる。

(10) スーパービジョン体制

- A28 スーパービジョンの体制を確立し、職員の専門性や施設の組織力の向上に取り組んでいる。 c
- スーパーバイザーを配置し、いつでも相談できる体制を確立している。
- 職員に対するスーパービジョンを定例的に行い、職員がひとりで問題を抱え込まないように、スーパーバイザーなどを通じて、組織としての働きかけをしている。
- スーパーバイザー以外にも職員相互が評価し、助言し合うことを通じて、職員一人ひとりが支援技術を向上させ、施設全体の支援の質を向上させるような取組をしている。
- スーパーバイザーは、職員からの信頼が得られるよう、研修に参加するなど質の向上に努めている。
- 国が定める基幹的職員を設置している。

【コメント】

スーパービジョン体制は確立されていない。施設長と専門職員の2名を中心に運営されており、施設内でスーパーバイザーを配置できる環境にない。内部で体制の確立が難しい場合は、外部の専門家等によるスーパービジョンを受け入れることにより、職員の資質向上や組織力の向上に努めていただきたい。また、バーンアウトや体調管理等にも配慮した今後の取り組みに期待したい。

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

30

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

45

A1

A2

A3

A4

A5

A6

A7

A8

A9

A10

A11

A12

A13

A14

A15

A16

A17

A18

A19

A20

A21

A22

A23

A24

A25

A26

A27

A28